

## 平成 22 年度 芳川北小研修計画

### 1 研修テーマ

#### 「学び合い、認め合い、高め合う子の育成」

～言葉を通して論理的に思考し、表現する能力を高める活動を通して～

### 2 テーマ設定の理由

新学習指導要領では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことの重要性が述べられている。そして知・徳・体のバランスとともに基礎的・基本的な知識技能、思考力・判断力・表現力等の及び学習意欲を重視し（学校教育法第30条第2項）、学校教育においてこれらを調和的に育むことが必要である旨が規定された。そして全教科の基盤となる言語に関する能力の育成の重要性が述べられている。これは、思考力・判断力・表現力等を問う読解力記述式問題、知識技能を活用する問題に課題がみられたPISA調査などを受けて改訂されている。

芳川北小学校では、「勉強大好き」「自分大好き」「運動大好き」を合い言葉に、「ともに輝き 生き生きしている子」の実現を目指している。

子どもたち一人一人が、課題に意欲的に取り組み、自分の考えを友達と言葉で伝え合うことを通して、より深く考えることができる子どもを育てることが、「勉強大好き」の子どもにつながり、学校教育目標の実現になると考え、研修テーマを「学び合い、認め合い、高め合う子の育成」とした。

本校では、平成16年から国語科を中心に研修を進めてきた。その積み上げから、子どもたちは、文章に書かれている内容の主題や要旨を捉えることができるようになってきている。しかし、教材文を全体として捉えたり、自分の経験と比べてみたり、その文章から自分は何を考えたかを話し合ったりする力は不足している。このことから、基礎的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身につけるといことが大切であると考えた。

そこで、サブテーマを「言葉を通して論理的に思考し、表現する能力を高める活動を通して」として、思考力・判断力・表現力等の育成に目を向けていきたいと考えた。確かに読み取り、読み取った内容から、自分の考えや理由を、根拠を明らかにして表現したり、話し合いや交流を通して内容について考えたりする学習を実践することから、言語に関する能力の育成の充実を図っていきたい。これを2年以上の長期的スパンでとらえ、本年は思考力に重きを置いて授業改善に取り組み、今後、言葉で伝え合う能力の育成にも力を入れるようにしていきたいと考えた。

### 3 研究の内容

#### 目指す子どもの姿

- 自分の考えを確かに持ち、自分の考えを理由や根拠を明らかにして論理的に表現し、交流する中でさらに自分の考えを深め、その内容について自分なりに評価・判断することができる子

#### (1) 研修の窓口

##### 国語科

「読むこと」を中心に、文学的文章・説明的文章などのテキストから身に付けさせたい言語能力を明確にして研究に取り組む。

#### (2) 研究の視点

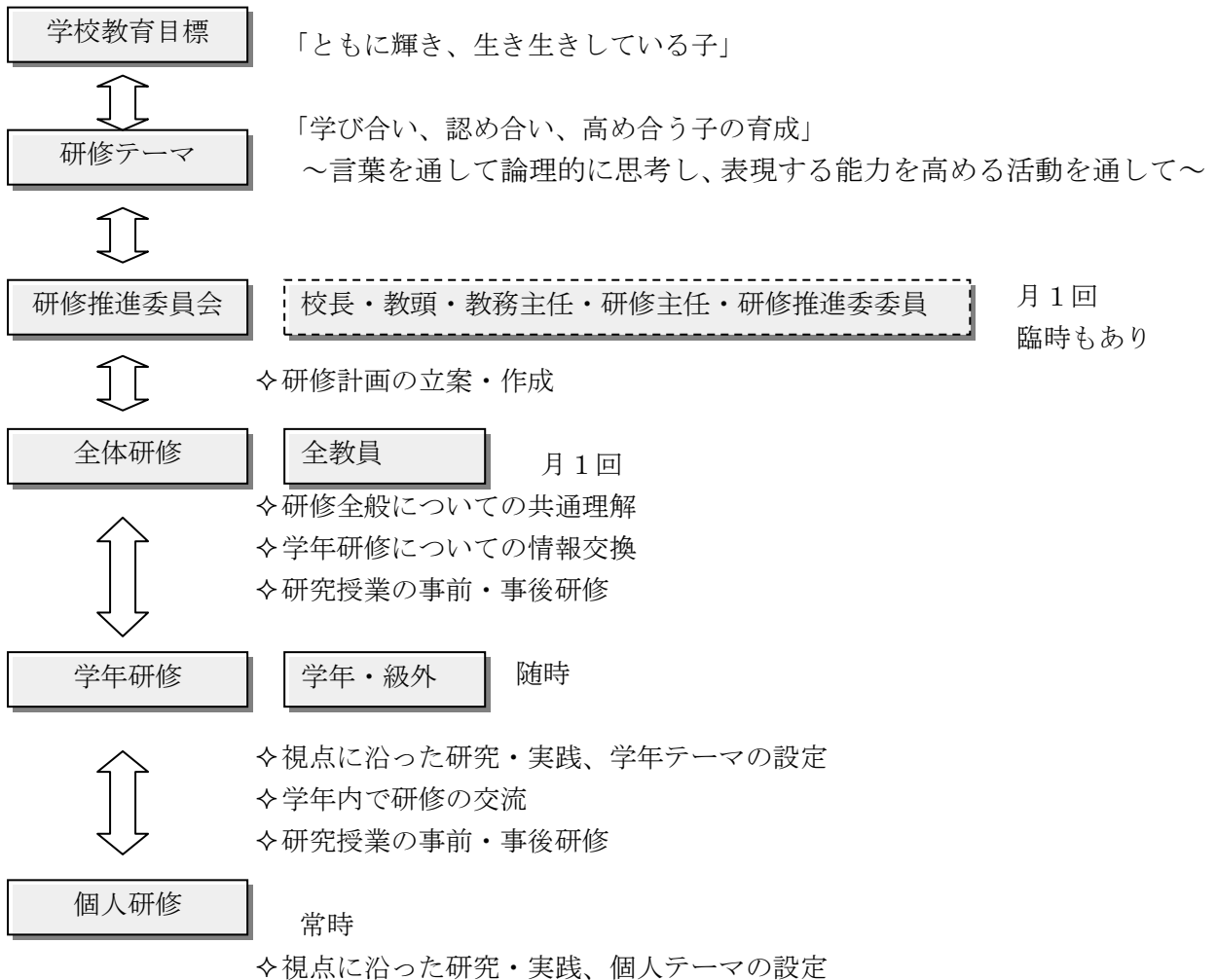
- ① 「聴いて→考えて→つなげる」授業作り（課題設定・場・具体的な手立て）
- ② リフレクションと評価（振り返りカードの活用）
- ③ 図書館教育との連携

(3) 具体策

- ① 国語科における思考力についての各発達段階における分析
- ② 話し合いを含む交流活動の方策についての研究
- ③ リフレクション（振り返り活動）の方策や評価のあり方の研究
- ④ 図書館司書教諭との連携と読書指導の充実

5 研究方法

① 研究組織



② 授業研究

- 国語科を窓口にして研究授業を行う。(担任外はこの限りではない)
  - ・ 1人1授業以上公開 (教職2～5年の方はステップアップ出前研修を活用して力をつける)
  - ・ 学年で1・2学期に配分して計画を立てる。
  - ・ 大研究として全員で見合う授業を各学年団一つずつ行う。
  - ・ 小研究は学年の中で見合う。
- 学習指導案は、学年で検討し、授業の1週間以上前に教科主任・研修主任・教務主任に1部提出し、指導を受ける。修正後、教頭、校長に直接持参し、指導を受け、印刷・配付する。(研修主任に2部提出)
- 研究の視点に即した児童の実態や評価に関する資料を研究授業当日までに作成し、印刷・配付する。
- 国語科の指導案には教材の構造を明らかにした「教材の構造表」をつける。

## 6 年間研修計画

月	日・曜日	組織	内 容
4	8 木	研推①	○研究主題・研究内容・研究方法の検討
	15 木	全体①	○研究主題・研究内容。研究方法の共通理解 ○研修計画の共通理解 ○年間授業計画について ○適応指導について
5	10 月	研推②	○各学年の研修計画作成 ※この日までに研究授業計画立案 ○提案授業検討
	12 木	学年(団)	○理想財団からの支援機器について活用方法検討 ○学年研修の方向性について
	21 金		○提案授業 ○提案授業事後研修
6	7 月 ?	研推③	○計画訪問指導案検討
	16 水	全体②	○提案授業・事後研
		全体③	○市教委計画訪問
7	7 水	研推④	○1学期の反省 ○夏季研修計画について
	14 水	全体④	○1学期の反省 ○夏季研修計画について
8	5 木	全体⑤ 学年(団)	○午前 外部講師を招いての研修 ○午後 2学期の授業の教材研究
	6 金	学年(団)	○午前 2学期の授業構想, 教材研究
	10 金	学年(団)	○2学期の授業構想, 教材研究
9	1 水	研推⑤	○2 学期の研修計画確認 ○大研究事前研修
	8 水	学年(団)	○教材研究, 研究授業準備
	29 水	全体⑥	○大研究事後研修
10	13 水	研推⑥	○大研究事前研修
11	4 水	研推⑦	○教材研究, 授業反省等
	10 水	全体⑦	○大研究授業事後研修
	17 水	市教研	音楽部 平澤先生、朝比奈先生授業公開
12	4 金	研推⑧	○2学期の反省
1	14 木	研推⑨	○大研究事前研修
	20 水	全体⑧	○大研究事後研修
2	2 水	研推⑩	○研修のまとめ, 来年度の研修構想について
	16 水	全体⑨	○研修のまとめ ○来年度の研修構想の共通理解

